

現代短歌分類辭典

第百拾六卷

津 端 亨 編纂

津 端 亨 編 纂

現代短歌分類辞典

第百十六卷

日本財団支援

笹川良一記念文庫

財団法人日本科学協会

現代短歌分類辞典

116

昭和五十九年十一月二十日発行 定価二、二〇〇円

著者発行
兼印刷者

津 端

亨

〒111

東京都台東区鳥越一―十一―八

発行所

現代短歌分類辞典刊行所

代表者 津 端 亨

振替 東京 三―九三―一四
電話 〇三―八五一―九八六九

目

次

(第百十六卷)

	歌数	頁数		歌数	頁数
うた	二、六五一	一	歌右衛門	三	三八
字陀	二三	二三	歌占	一	三八
歌合せ	一	三四	うたーえーつ	一	三九
歌行灯	一	三五	うたえらみ	一	三九
字内	一	三五	うちおとしーたる	一	三九
うだいかんば	一	三五	うたおもひーせーむ	一	三九
歌碑	一	三六	歌垣	六	三九
右大将頼朝公	一	三六	歌垣山	一	三〇
右大臣大久保公	一	三六	歌数	二	三〇
右大臣家	一	三七	うたかた	五	三〇
打たーう	二	三七	うたかたばな	一	三四
歌ーうたひ	一	三七	歌がたり	一八	三五
うたーうたひびと	一	三七	歌がたりーしーつつ	一	三六
うたうーて	五	三八	歌がたりーする	五	三六

うたがはーせーし	一	二二七	うたがはーで	四	二五二
歌がたりーせーず	一	二二七	うたがはーない	三	二五二
歌がたりーせーむ	一	二二七	うたがはーなく	二	二五三
宇陀川	三	二二七	うたがはーなくーに	四	二五三
うたがはーざらーむ	七	二二八	うたがはーぬ	三七	二五三
うたがはーざりーき	二	二二八	うたがはーぬーらし	一	二五六
うたがはーざりーし	六	二三九	うたがはーねーど	二	二五七
うたがはーざれーば	一	二四〇	うたがはーねーども	四	二五七
うたがはし	三	二四〇	うたがはーねーば	一	二五七
うたがはーじ	一	二四〇	うたがはーば	四	二五七
うたがはしき	一	二四一	歌が浜	四	二五八
うたがはしき	一	二四一	うたがはーむ	一二	二五八
うたがはーざれーば	一	二四一	うたがはーる	五	二六〇
うたがはーず〔終止形〕	九	二四一	うたがはーるーなり	一	二六〇
うたがはーず〔連用形〕	二六	二四九	うたがはーる	一	二六〇
うたがはーずーけり	四	二五一	うたがはーれーなーば	一	二六〇
うたがはーずーして	一	二五三	うたがはーん	一	二六一

うたがひ「名詞」
 うたがひ「連用形」
 うたがひあふ
 うたがひーえーざる
 うたがひーがたし
 うたがひーき
 うたがひーくるしみーて
 うたがひごころ
 うたがひーし
 うたがひそめーぬ
 うたがひーたく
 うたがひーたりーし
 うたがひーつ
 うたがひーつつ
 うたがひーて
 うたがひつづけーて
 うたがひーて

二五
 二三
 一一
 一一
 二
 一
 一
 五
 八
 二
 一
 一
 一
 一
 六
 一
 七

二六二
 二七三
 二七三
 二七三
 二七三
 二七三
 二七三
 二七三
 二七四
 二七四
 二七五
 二七五
 二七五
 二七五
 二七五
 二七六
 二七六
 二七六

うたがひーながら
 うたがひーにーけり
 うたがひーぬ
 うたがひぶかき
 うたがひぶかく
 うたがひやすく
 うたがひゆく
 うたがふ「終止形」
 うたがふ「連体形」
 かうたがう
 うたがふーが
 うたがふーごとく
 うたがふーと
 うたがふーな
 うたがふーなかれ
 うたがふーなし
 うたがふーならーね

一
 三
 一三
 一
 二
 二
 一
 四三
 一九
 二
 一
 一
 三
 一
 七
 六
 一
 一

二七七
 二七七
 二七八
 二七九
 二七九
 二七九
 二七九
 二八〇
 二八三
 二八五
 二八五
 二八五
 二八五
 二八六
 二八六
 二八六
 二八七
 二八七

うたがふーばかり	二	二七	歌柄	一	二九二
うたがふーは	一	二八	歌加留多	三	二九二
うたがふーべからず	一	二八	うだき	一	二九二
うたがふーべしーや	一	二八	うだく	一	二九三
うたがふーまでーに	一	二八	歌屑	四	二九三
うたがふーまでーの	一	二八	うたぐる	一	二九三
うたがふーも	二	二八	歌会	六	二九四
うたがふーや	一	二九	歌会指導	一	二九九
うたがふーやうーに	一	二九	うたかいーしーたりーき	一	三〇〇
うたがふーらく	一	二九	うたくわいーしーて	一	三〇〇
うたがふーらしき	一	二九	うたくわいーす	一	三〇〇
うたがへーど	一	二九	歌会席上	一	三〇〇
うたがへーば	二三	二九〇	うたくわいーせーし	一	三〇〇
うたがへーり	六	二九一	歌会放送	一	三〇〇
うたがへーる	二	二九一	歌会始	一	三〇一
宇陀紙	一	二九一	歌会最中	一	三〇一
			宴	二八	三〇一

宴帰り	うたげーしーて	一	三一	うたーざらーめーやーも	四	三六
うたげーす	一	三一	うたーざりーし	三	三七	
うたげーすーらしーも	二	三二	歌さんげ	二	三七	
うたげーする〔連体形〕	二	三二	うたし	一	三七	
うたげーせーむ	一三	三四	うたーしーし	一	三八	
うたげーせーり	一	三五	うたーしむ	三	三八	
うたげーせーりーけむ	一	三五	うたーしむる	一	三八	
うたげーせーる	一	三五	うたーしめ	二	三八	
うたげびと	一	三五	うたーしめーし	一	三九	
歌心	二六	三五	うたーしめーて	二	三九	
うたごと	一	三八	うたーしめーぬ	二	三九	
うたごゑ	八四	三八	うたーしめーむ	一	三九	
歌座	一	三五	歌精進	一	三〇	
歌幸	四	三五	歌上人	一	三〇	
歌沢	二	三六	歌將軍	一	三〇	
うたさま	二	三六	うたしらべーせーす	一	三〇	

うたす	八	三三〇	うたーせーはてーつる	一	三三七
うたーず	七	三三一	うたーせーばや	一	三三七
うたずきな	二	三三二	うたーせーむ	一	三三七
うたーずーけり	一	三三三	うたーせよ	一	三三八
うたーずーして	二	三三三	うたーせーをり	三	三三八
歌硯	一	三三三	うたーせーをりーし	一	三三八
うたーずーば	二	三三三	うたーせーん	一	三三八
うたーずーも	一	三三三	うた	三〇	三三八
うたせ	七	三三三	うたたくみ	一	三八一
うたーせーくる	一	三三四	うたたね	八二	三八一
うたーせーけり	三	三三四	うたたねーし	一	三三八
うたーせーし	三	三三四	うたたねーしーたる	一	三三八
うたーせーたり	二	三三五	うたたねーしーつつ	一	三三九
うたーせーたる	一	三三五	うたたねーしーをり	一	三三九
うたーせーつ	二	三三五	うたたねす	一	三三九
うたーせーつつ	五	三三五	うたたねーする	一	三三九
うたーせーて	一三	三三六	歌霊(うただま)	一八	三四九

うただまいくさ	一	三五二	うたてく	二	三五六
歌短冊	一	三五二	うたてけれども	一	三五六
卯建	一	三五二	うたてさ	三	三五七
うだつ	一	三五二	歌弟子	一	三五七
歌塚	一	三五二	うたてーや	一	三五七
歌つくり	三	三五二	歌時計	一	三五七
歌つくりびと	一	三五二	うたどころ	一	三五八
うたつーた	一	三五二	歌と人	二	三五八
うたつーて	五	三五三	歌友	一	三五八
うたつーてる	二	三五三	うたとり	一	三五八
うたつどひ	一	三五三	うたーなく	一	三五八
うたつどひす	一	三五三	うたーなげきーくる	一	三五九
うたて	一七	三五四	歌日記	二	三五九
うたーで	二	三五五	うたーぬ	五	三五九
うたてかる	一	三五六	歌主	二	三六〇
うたてかるーべし	一	三五六	うたーねーば	二	三六〇
うたてき	一	三五六	歌の神	一	三六〇

歌の君	一	三六〇	うたは―ず	五	三六四
歌の子	一	三六〇	うたは―ず〔連体形〕	四	三六五
宇陀の郡	一	三六〇	うたは―ずーや	一	三六五
うたノート	一	三六一	うたは―せ	四	三六五
宇多の中山	一	三六一	うたは―せーて	六	三六六
宇陀の野	一	三六一	うたは―で	三	三六六
歌の聖	一	三六一	うたは―な	一	三六七
歌の袋	一	三六二	歌話	四	三六七
うたのむた	一	三六二	うたは―ぬ	七	三六七
うた―ば	五	三六二	うたは―ね―ば	三	三六八
うたは―う	二	三六三	うたは―ば	二	三六八
うたは―ざら―め―や	三	三六三	うたは―ば	一	三六九
うたは―ざる	一	三六三	歌法要	一	三六九
うたは―じ	一	三六三	歌法師	一	三六九
うたは―し―し	二	三六四	うたは―む〔終止形〕	五	三六九
うたは―し―たり―し	一	三六四	うたは―む〔連体形〕	四	三七〇
うたは―しむ	一	三六四	うたは―む―と	四	三七〇

うたはーめ	一	三七〇	うたひあげーた	一	三七六
うたはーるる	六	三七一	うたひあげーたり	一	三七六
うたはーれーし	五	三七二	うたひあげーたる	三	三七六
うたはーれーて	六	三七三	うたひあげーむ「連体形」	四	三七六
うたはーれーにーけり	一	三七三	うたひーあそぼーむ	一	三七九
うたはーれーにーける	一	三七三	うたひーあそぶ	一	三七九
うたはーれーぬ	一	三七三	うたひあふ	一	三七九
うたはーれーん	一	三七三	うたひあふーべき	一	三七九
うたはーん	二	三七三	うたひーあへーなく	一	三八〇
うたひ（謡）「名詞」	一〇	三七四	うたひーあり	一	三八〇
うたひ「動詞」	二三	三七五	うたひーありーき	一	三八〇
うたひあぐねーて	一	三七七	うたひいだせーり	二	三八〇
うたひあぐーべき	一	三七七	うたひいだせーる	一	三八〇
うたひあぐーべし	一	三七七	うたひいづ	二	三八〇
うたひあげ	一	三七七	いたひいづる	一	三八一
うたひあげーき	一	三七七	うたひいづれーば	一	三八一
うたひあげーし	一	三七八	うたひいでーし	一	三八一

うたひいでーたり	一	三八一	歌日子	六	三八四
うたひいでーたる	一	三八一	うたひごゑ	一	三八五
いたひいでーつ	一	三八二	うたひこせ	一	三八五
うたひいりーたる	一	三八二	うたひさざめく	一	三八五
うたひーうたひーて	一	三八二	うたひさし	一	三八六
うたひーうたふ	一	三八二	うたひーし	三	三八六
うたひーえーし	一	三八二	うたひーしーが	二	三八八
うたひーえーず	一	三八二	うたひしなれば	一	三八九
うたひーえーぬ	二	三八三	うたひしや	一	三八九
うたひーおくーべし	一	三八三	うたひしより	一	三八九
うたひおほせーし	一	三八三	うたひすらむ	一	三八九
うたひおろし	一	三八三	うたひぞめ	一	三八九
うたひーかねーつる	一	三八三	うたひそめーけり	一	三九〇
うたひかはしーて	二	三八三	うたがひたがやす	一	三九〇
うたひかはせーる	二	三八四	うたひーたきーなり	一	三九〇
うたひかへしーて	一	三八四	うたいたく	一	三九〇
うたひーき	一	三八四	うたひだしーけり	一	三九〇

うたひだしぬ
うたいだす

合計

四二七八首 一 一

三九〇 三九〇

うた【名詞】「歌」

関西に根岸の歌を興さまく願ひは玉と抱き秘めにつつ⑥

関西に我等の歌をよみ起し助け合ひ来ぬ五十有余年⑥

寛斎の降魔の幅の前にして歌もひ居れば更けゆく秋の夜⑧

元日の朝の寝床でよんでゐる島木赤彦の古めかしい歌を②

還暦くわんれきの僅かの歌を夏のころ手帳のすみに作りおきたり（小園）

燻製のうなぎを腸詰を手に手に持ちさげぶ群衆は照明のうち③

軍勢は海より来たるああなんとやりきれぬ朝のさかなる歌③

経済学に秀でし友の名は聞けど歌の仲間はずひに無かりき③

傾城けいせいの姿はすれど忠度たかのりと聴く寿美蔵に歌ありやなし⑮

契沖の富士の歌切れ無雑作にかけたる居間か円座は置きぬ（多磨三）

敬老の日ラヂオより流るる明治の歌われも口ずさむ声はりあげて②

うた

花田 比露思

花田 比露思

安江 不空

清水 信

斎藤 茂吉

高橋 希人

前川 佐美雄

植松 寿樹

吉井 勇

横地 信輔

今井 よしの

うた

係恋のうたこだはらずうたひゆくかの若ものも草も明るし⑤

教室に机並べしことすらも知らざりし君を歌詠むに知る⑤

けがれたるこの世の中にとどめじと君が歌をば君は焚くらむ①

月光ツクヨウの中にあらはれ歌うたふ女三人みたりのほそき声はや⑫

結婚し歌をやめゆく宿命も貧しき国の象徴の一つ②

ゲーテ生誕二百年祭に寄する歌世界対峙の眼を和ましむ①

けふここに相寄り歌をよむ友らレッド・ページの君も交りゐて③

今日こそ歌は選ばめと久々に机に倚るに疲労つかれの著しるし①

今日しもぞ御墓に歌をたてまつる古太刀解きて松に掛くる思⑤

けふの旅つれだつ歌の仲間にはわが長男より若きものあり⑤

今日もまた人はばかりの歌なりぬ気遠き宮の壁にかかむか

原稿を書きつつをれば老い母のくりやにうたふ歌きこゆなり

生 方 たつゑ

植 松 寿 樹

落 合 直 文

斎 藤 茂 吉

斎 藤 喜 博

太 田 青 丘

山 下 秀之助

花 田 比露思

與謝野 寛

半 田 良 平

大 矢 正 修

大 塚 金之助

原稿の枠目見えずと書き添へし老いたる人の歌たどり読む⑧
 建久三年生誕七百七十九年歌ありて君世に忘れず（遠汐騒）
 現実を逃避し詠める歌ならず自己更新を我と遂ぐるため③
 現実^ひに復りて忙がし歌の手帳ポケットに押込み電車を降りぬ①
 謙信の旅雁の歌をくちずさみ心がしく秋風を聴く②⑦
 劔によりて東亜生きたり歌によりて光放たむ時はそもいつ①
 兼題の歌を書くとして磨る黒のほひぞすなる静かなるゆゑ⑨
 工廠の笛鳴り揺りて夕濠にあはれなるかもよ船の唄聞ゆ①
 工場の迎へのバスに離農せる人等田圃を唄うたひ通る④
 紅梅に美き尼おはす御寺ぞと、鐘を戸に倚る歌わかい君②
 後輩の我にねもごろ乞ひたまふみところに副ふ歌にあらねど
 碁打にも按摩にも先生といふに足る人はあらめど歌人にはいざ①
 うた

岡本大無	本間桐人	與謝野晶子	鈴木康文	中村憲吉	岡野直七郎	尾上柴舟	吉井勇	立花馨	大岡博	四賀光子	宮柊二
------	------	-------	------	------	-------	------	-----	-----	-----	------	-----